

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
電子・電気科（電気工事コース）											
電気工事实習 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	300	単位	10
担当教員	畑野 広行、萩原 重行、阿部 雅彦、長澤 正明、計良 信和			実務経験	有	職種	電気技術者				
授業概要											
電気回路図を読み取る力を養い、配線図の内容を正確に把握し、実技作業に反映する知識と技術を習得し、実現場の環境に近い実習設備を使用し技能の向上を図る事を目的とする。この科目は「電気施工方法1」「電気工事材料・工具」「電気法令」「屋内電気配線図」などの科目と関連性があり、認定科目の中でも特に重要な部分を占めている。また第二種電気工事士の養成施設の認定科目であるので、単位の取得が必須となる。											
到達目標											
第二種電気工事士試験（国家試験）に合格するレベルの知識と技術は勿論の事、実現場で即戦力として活躍する事の出来る技能を習得する事を目標とする。											
授業方法											
基本的には配布資料をもとに実習を進める。課題について説明すると共に、材料や工具の取り扱い上の注意点を理解させる。また、怪我をしないように安全作業に気を配らせる。質疑応答は随時受け付ける。											
成績評価方法											
試験・課題：60％試験と課題の完成度を総合的に評価する。レポート：20％実習終了後に提出報告書を総合的に評価する。平常点：20％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。遅刻、欠席、作業態度不良、課題の欠陥項目とその数についても評価の対象とする。実習後の清掃及び整理整頓についても評価の対象とする。											
教科書教材											
電気設備技術基準・解釈／自作プリント											
回数	授業計画										
第 1 回	接地工事										
第 2 回	各種測定の方法										
第 3 回	技能講習										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
電子・電気科 (電気工事コース)	
電気工事实習 2	
第4回	金属管工事(1)
第5回	金属管工事(2)
第6回	金属管工事(3)
第7回	金属管工事(4)
第8回	金属管工事(5)
第9回	金属管工事(6)
第10回	金属管工事(7)
第11回	金属管工事(8)
第12回	金属管工事(9)
第13回	金属管工事(10)
第14回	金属管工事(11)
第15回	金属管工事(12)

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
電子・電気科 （電気工事コース）	
電気工事实習 2	
第 1 6 回	合成樹脂管工事(1)
第 1 7 回	合成樹脂管工事(2)
第 1 8 回	合成樹脂管工事(3)
第 1 9 回	合成樹脂管工事(4)
第 2 0 回	合成樹脂管工事(5)
第 2 1 回	合成樹脂管工事(6)
第 2 2 回	合成樹脂管工事(7)
第 2 3 回	合成樹脂管工事(8)
第 2 4 回	合成樹脂管工事(9)
第 2 5 回	合成樹脂管工事(10)
第 2 6 回	可とう電線管工事(1)
第 2 7 回	可とう電線管工事(2)

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
電子・電気科 (電気工事コース)	
電気工事实習 2	
第 2 8 回	可とう電線管工事(3)
第 2 9 回	可とう電線管工事(4)
第 3 0 回	可とう電線管工事(5)
第 3 1 回	可とう電線管工事(6)
第 3 2 回	金属線ぴ工事(1)
第 3 3 回	金属線ぴ工事(2)
第 3 4 回	金属線ぴ工事(3)
第 3 5 回	金属線ぴ工事(4)
第 3 6 回	金属線ぴ工事(5)
第 3 7 回	金属線ぴ工事(6)
第 3 8 回	金属線ぴ工事(7)
第 3 9 回	ネオン管工事(1)

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
電子・電気科 （電気工事コース）	
電気工事实習 2	
第 4 0 回	ネオン管工事(2)
第 4 1 回	ネオン管工事(3)
第 4 2 回	動力工事(1)
第 4 3 回	動力工事(2)
第 4 4 回	動力工事(3)
第 4 5 回	動力工事(4)